

広報ひこね



子どもたちの歓声が響く賢木神社境内（安清町）

2002

9 / 1

9月は防災月間	家庭で、地域で 防災意識を高めましょう	2
	みんなで考えよう 市町村合併 第12回	5
来年4月	障害者福祉の支援費制度がスタートします	6
	PLAZA <small>プラザ・フェスティバル</small> FESTIVAL 出場者募集	8
	ときの玉手箱 第73回	10
	玄宮園で虫の音を聞く会・彦根城ムーンコンサート	11
	秋の文化祭【9月の行事】	16



真剣な表情で初期消火訓練に取り組む
大堀防災会の皆さん（昨年の彦根市防災訓練で）

ひこね21世紀創造プラン

市民がつくる
安心と躍動のまち
彦根

1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
4. 明日の彦根市を担う人を育むまちづくり
5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

特集

家庭で、地域で 防災意識を高めましょう



災害から身を守るために
大地震などの災害から身を守るには、各家庭での防災の備えが欠かせません。しかし、個人や家族の力だけでは限界があります。そこで必要になってくるのが、住民が協力し合って大きな災害に立ち向かう、地域の自主防災活動です。いざというときに一人ひとりが団結して発揮する行動力こそ、一刻を争う人命救助に大きく貢献するのです。

阪神・淡路大震災で犠牲となった6,400人余りの9割近くは、倒壊家屋の下敷きとなった人々でした。一方で、その数十倍ともいわれる多数の人々が、けがを負いながらも倒壊物の下から救出されています。家族や近隣住民が協力し、パルやのこぎり、車のジャッキなど身近にある物を使って閉じ込められた人々を助け出したのです。

地域コミュニティ活動の一環として

彦根市内には、82の自主防災会が組織されています（8月15日現在）。それぞれの地域の実情に合った防災会を組織し、地域コミュニティ活動の一環として取り組みましょう。防災会の設置についてのお問い合わせは、市消防本部警防課 ☎20337番へどうぞ。

命を守る、まちを守る

大地震の発生直後は、広範囲にわたって建物の倒壊、火災の発生、道路・水道・消火設備の損壊などが起

大 防災会

集落全員で 防災に取り組む

大堀防災会は、平成7年の阪神・淡路大震災による住民の防災意識の高まりを受けて準備が始まり、同11年に設立されました。参加しているのは、大堀町全200世帯余りの住民です。

大きな災害が起ると、私たちの生命、財産は、私たち自身で守らなければなりません。そのため何ができるかを考えながら活動を続けてきました。平成12年には



会長
小堀英雄さん

全戸の消火器の点検をし、可搬式ポンプや倉庫の整備など、設備の充実に努めてきました。大堀防災会では、参加する全員が五つある班のどれかに所属します。救護班、消火班などがあり、救護班は応急処置を、消火班は可搬式ポンプを使った放水をできるようそれぞれ訓練します。可搬式ポンプの操作ができる人が年々増え、喜んでいきます。技術が身についたところに班を変えれば、さらに別のこともできるようになります。ゆくゆくは、全員が何でもできるよつになることが高い理想です。活動を通じて、住民の防災に対する意識が高まっているように感じます。日ごろから訓練をし、いざという時にきちんと機能するよう、積極的に活動を続けたいと思います。

大地震が起きたら…

身の安全を守る

揺れを感じたら、机やテーブルの下に身を隠し、身近な座ぶとんなどで頭部を保護します。ドアや窓を開けて脱出口を確保することも大切。すぐに戸外に飛び出すと、瓦やガラス、外壁などが落ちてくることがあるので注意しましょう。

火災を防ぐ

使用中のガス器具、電気製品、冬ならストーブなどは直ちに消すこと。万一火が出たら、あわてずに消火器などでボヤのうちに消し止めます。手に余るようなら大声で近所の人に応援を求めましょう。浴槽に水をためておけば、いざというときに役立ちます。

速やかな避難

避難は徒歩が原則。車は渋滞を引き起こし、消火・救援活動の妨げとなります。自宅を離れるときは電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を締めること。崩れやすくなっているがけや川べり、高い塀や建物には近よらないように。土砂崩れの危険がある場合は速やかに安全な場所に避難しましょう。

新海町 防災会

「ふるさとを
自分たちの手で
守る」意識で

新海町防災会という名称の組織ができたのは平成元年ですが、それ以前から、自治会を中心に町民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守ろう」という意識を強く持ってまちづくりに取り組んできたのが私たちの誇りです。

新海町は彦根市の南西端に位置し、消防署南分署から直線距離でも5km以上離れており、また、集



落のすぐ南側は愛知川の右岸堤防です。こうした地理的条件から、早くから自警消防隊と婦人

消防隊が組織され、さらには、町内には自治会が全額費用負担した4か所を含め、6か所の防火水槽があります。

また、組織や設備を整備するだけで満足することなく、災害時に有効に機能できるように、定期的な訓練を欠かさずお願いしています。災害は、起こらないに越したことはありません。しかし、万一の非常時には隣近所助け合って被害を最小限にできるように、備えを怠らないようにしたいと思います。



会長
安居清七さん

家庭の地震対策

最も身近な自主防災組織は家庭です。地震発生の際にも家族全員があわてず行動できるように「家庭内防災会議」を開き、必要な事項を確認し合っておきましょう。

とっさの安全確保と火災防止の手順は？
家屋の補強、家具の転倒・落下の防止策は？

非常持出袋の準備と置き場所は？

- ・非常持出品の例
 - ヘルメット、防災ずきん
 - 飲料水と食料（2～3日分）
 - 衣類、手袋
 - 懐中電灯
 - ライター、ろうそく
 - ラジオ
 - 救急医療品
 - 預金通帳、印鑑
 - （乳幼児がいる場合）ミルク、ほ乳びん、紙おむつ など

幼児や高齢者の避難補助の役割分担は？
避難経路と避難場所（☞4ページ参照）は？

家族間の連絡方法は？

紙上談話室・6

防災について考えよう

彦根市長 中島 一

「災害は忘れたころにやってくる」先人が残してくれたこの言葉が、再び脚光を浴びようとしています。

最近の新聞報道をみますと、災害に関する記事が連日といつていいほど掲載され、特に、地震災害に関する情報が多く、東海地震や日本国内に90か所以上ある活断層に関連する内容の記事が多くなってきました。

阪神・淡路大震災（平成7年1月）以降、鳥取県西部地震（同12年10月）や芸予地震（同13年3月）など大規模地震が連続して発生し、地震災害に対する認識が再び高くなってきたことに対する表れだと思えます。

いつ来るかもしれない大地震に対して、どのように対策を立てればよいのでしょうか。いつ地震が来てもたいじようぶ、という人はそれほどおられないでしょう。むしろ、地震がいつ、どの程度のもので来るのかも分からず、そのときしだいであるとする人が大多数ではないでしょうか。

「防災の日」の由来となった

関東大震災や阪神・淡路大震災を教訓にした防災訓練がなされます。とはいえ、震源の複雑さに応じて、その後の被害を推定することも、ますます複雑になってきている現在、都市防災への将来的な計画立案を早急にたてなければなりません。その際の重要な視点として、①戦略的対策 ②市民との合意形成の2点があげられます。

地震災害は、私どもの生活にかかわる最も怖い災害であることは承知していても、拒むことのできない災害でもあるわけです。市では、災害時における生命・財産は、まず自分で守り、そして地域で守るということを前提とした自主防災活動に対する支援を中心に、その組織育成を図るとともに、自主防災資機材の整備にかかる支援や災害時ボランティアの育成、受入体制の整備などを推進していきます。また、災害時における情報を市民と共有し、行政と住民が一体となって防災対策を中心とした施策を展開していきたいと考えています。



8月1日、「合併協議会」の看板を取り付ける
(左から)多賀町長、彦根市長、甲良町長、豊郷町長

みんなで考えよう

市町合併

第12回

「合併協議会」
9月3日に第1回会議を開催

「広報ひこね」8月1日・15日合併号でお知らせしたように、彦根市と豊郷町、甲良町、多賀町の1市3町は、8月1日に「彦根市

豊郷町・甲良町・多賀町合併協議会」を設置し、事務局を彦根市役所内に置きました。協議会は9月中に左のとおり2回開催する予定です。会議は、原則公開としており、傍聴することができます。また、3回目以降の協議会は、おおむね月1回のペースで開催されます。会議の日時、場所などについては、「広報ひこね」紙上などでお知らせします。

「合併協議会」9月の日程

第1回 日時 9月3日(火) 13:30~
場所 ひこね燦ぱれす (小泉町)

第2回 日時 9月25日(水) 13:30~
場所 多賀町中央公民館 (多賀町久徳160-1)

問い合わせ先 彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町合併協議会事務局 (市役所4階) ☎22-1411 (内線429)、FAX22-1398

個性きらめく 1市3町

合併すると...

人口 → 131,624人
世帯数 → 44,740世帯
面積 → 255.52km²

彦根市
(人口107,860人、世帯数38,026世帯、面積98.15km²)
かつての彦根藩35万石の城下町として貴重な歴史遺産や文化的土壌を有しています。滋賀県立大学、滋賀大学などもある学園研究都市としての環境が整いつつあるほか、「夢京橋キャッスルロード」など、新しいアイデアによるまちづくりも展開しています。

豊郷町 (人口7,132人、世帯数2,125世帯、面積7.78km²)
農業を中心に発展した、近江米の産地・湖東の米どころ。「伊藤忠・丸紅」の創始者伊藤忠兵衛をはじめとする近江商人の故郷として知られ、現在も住時の生活をうかがわせる旧宅などが残ります。近年は、「都市型農業」を目指し、野菜や花き栽培が盛んに行われています。

甲良町 (人口8,169人、世帯数2,191世帯、面積13.66km²)
湖東平野北部の犬上川流域に位置します。総面積の5割を農地が占める潤いある田園のまちで、農村景観の保全・整備に積極的。湖東三山の一つ西明寺があり、秋は紅葉の名所として多くの観光客を集めています。字ごとに設置された「むらづくり委員会」や「せせらぎ夢現塾」など、住民と行政による一体的なまちづくりを展開しています。

多賀町 (人口8,463人、世帯数2,398世帯、面積135.93km²)
県内第6位の広大な町土を有し、その85.7%が緑豊かな山林。県内でも有数の歴史文化資源である多賀大社には年間170万人を超える観光客が訪れます。国道306号、同307号による交通アクセスに優れ、工業団地等には多数の優良企業が立地しています。

※人口および世帯数は、平成12年国勢調査によります。



活用してください
「市民防災マニュアル」

9月は、台風や熱帯低気圧による風水害が起こりやすい時期でもあります。5月に配布しました「改訂版市民防災マニュアル」(写真右)で、改めて災害に対する備えを家族全員で確認しましょう。

「市民防災マニュアル」は、このほど外国語版(ポルトガル語・英語・中国語・ハンガルの4か国語併記)写真左)と点字版および点字版の内容を音声入力したカセットテープも作成しました。関係機関・団体を通じて配布する予定ですが、市役所1階受付、市民・国際交流サロン(市民会館1階)にも置きます。

近くの避難場所を再確認しましょう

避難場所、避難経路や隣近所との協力体制などについても再確認しましょう。避難場所として指定されている施設は、下のとおりです。



避難の指示が出た場合でも、おやみに逃げ出すのは禁物です。火の元や戸締まりをしっかり確認し、近所の人といっしょに徒歩で避難しましょう。

問い合わせ先

内線444番

市内の避難場所一覧

学区	施設名	所在地	学区	施設名	所在地
城東	城東小学校	京町二丁目2-19	城陽	城陽小学校	甘呂町430
	東地区公民館	大東町1-26		南中学校	甘呂町156
	彦根勤労福祉会館	大東町4-28		滋賀県立大学	八坂町2500
城西	彦根商工会議所	中央町3-8	若葉	三津屋町民会館	三津屋町1451
	城西小学校	本町三丁目3-22		若葉小学校	蓮台寺町180
	西中学校	金亀町8-1		鳥居本	鳥居本小学校
彦根東高等学校	金亀町4-7	鳥居本中学校	鳥居本町788		
市民会館	尾末町1-38	鳥居本地区公民館	鳥居本町1491-6		
城西	西地区公民館	本町一丁目9-1	高宮	高宮小学校	高宮町2447
	彦根幼稚園	本町一丁目3-33		高宮地域文化センター	高宮町2311
	彦根西高等学校	池州町9-73		河瀬小学校	極楽寺町118
金城	金城小学校	大町391	河瀬	彦根中学校	西葛籠町553
	中地区公民館	西今町2610		河瀬地区公民館	森堂町131
	滋賀県立大学看護短期大学部	八坂町1900		広野会館	犬方町848-1
城北	老人福祉センター	開出今町1361	瀬	東びわこ農業協同組合本店	川瀬馬場町922-1
	城北小学校	松原町3751-3		彦根工業高等学校	南川瀬町1310
	市民体育センター	松原町3751-7		河瀬高等学校	川瀬馬場町975
城北	近江高等学校	松原町3511-1	龜山	ふたば保育園	犬方町624
	千松会館	松原一丁目12-13		龜山小学校	賀田山町8
	彦根総合運動場スイミングセンター	松原町3028		市役所龜山出張所	賀田山町278-2
佐和山	北老人福祉センター(ハビネスひこね)	馬場一丁目5-5	稲枝東	稲枝東小学校	稲部町308
	滋賀大学	馬場一丁目1-1		稲枝商工会館	稲部町607-1
	彦根簡易保険保養センター	松原町3759		聖泉短期大学	肥田町720
旭森	佐和山小学校	安清町11-32	稲枝北	彦富町公民館	彦富町1718
	東山会館	里根町163-1		稲枝北小学校	下岡部町597
	東中学校	芹川町443		市役所稲枝支所	田原町13-1
旭森	彦根翔陽高等学校	芹川町580	稲枝西	稲枝中学校	田原町202
	彦根女子高等学校	芹川町328		稲枝地区公民館	本庄町60
	旭森小学校	東沼波町300		東びわこ農業協同組合稲枝中央支店	本庄町92-1
平田	旭森地区公民館	正法寺町642	城南	稲枝西小学校	本庄町3583
	平田小学校	平田町267		新海町公民館	新海町409
	福祉保健センター	平田町670			
城南	働く婦人の家	平田町670			
	勤労青少年ホーム	平田町670			
	東びわこ農業協同組合彦根中央支店	平田町792-1			
	城南小学校	西今町380			
	ひこね燦ぱれす	小泉町648-3			
	ひこね市文化プラザ	野瀬町187-4			

市では、各地区の小学校を拠点避難場所に指定しています。(表中に太字で表示しました。)

この一覧表は、小学校区ごとに掲載していますが、実際の避難にあたっては、学区内の施設に限らず、災害状況に応じて最も近くて安全な施設へ避難してください。

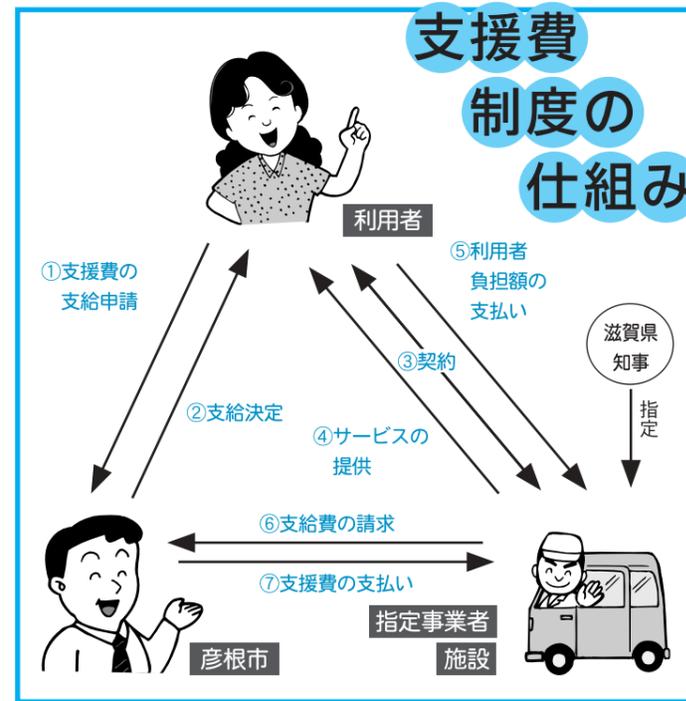
尊重します 利用者の自己決定・自己選択

来年4月から

障害者福祉の支援費制度がスタートします

障害のある人も障害のない人も、ともに地域で生活し、いきいきと活動できる社会を目指す「ノーマライゼーション」。障害者福祉を考えるうえで、欠かすことのできない理念です。

この理念を生かすため、障害者の生活を支援するとともに、自立と社会参加を促す「支援費制度」が始まります。



今までの障害者福祉サービスは、行政がサービスの利用者を特定し、サービスの内容を決めてきました。これを「措置制度」といいます。

来年の4月からは、「支援費制度」が始まります。この新しい制度では、利用者である障害のある人が、自分でサービスや、サービスを提供する事業者を選択し、対等な関係に基づいて契約することにより、サービスを利用します。障害のある人の個人の尊厳を重視した、21世紀にふさわしい制度を目指します。

サービスの内容は、行政が一人ひとりの障害の状況や意向などを聴き取りし、一定の範囲のなかで利用者が選びます。また、サービス利用にかかる費用は、一部を利用者自身が自己負担し、残りを「支援費」として市が直接事業者に支払います。

問い合わせ先 障害福祉課
 ⑦9981番 F A X ⑥1767番

支援費制度の対象になるサービス

障害児	知的障害者	身体障害者	
ホームヘルプサービス、居宅における介護・家事援助 デイサービス、通所により日常生活動作や集団生活への適応などに関する指導と訓練 ショートステイ 児童福祉施設などに短期間入所	ホームヘルプサービス、居宅における介護・家事援助 デイサービス、通所による創作的活動、社会適応訓練など ショートステイ 知的障害者更生施設などに短期間入所 グループホーム 地域のなかでの共同生活者に対する日常生活上の援助	ホームヘルプサービス、居宅における介護・家事援助 デイサービス、通所による創作的活動、機能訓練など ショートステイ 身体障害者更生施設などに短期間入所	居宅サービス (居宅生活支援)
	更生施設 日常生活における自立と社会参加のための訓練施設 授産施設 自立と社会経済活動への参加に向け、訓練や職業提供を行う施設 通動察 就労している障害者の独立・自立に必要な助言・指導を行う施設 心身障害者福祉協会が設置する福祉施設 障害の程度の著しい心身障害者を対象に、必要な保護と指導を行う施設	更生施設 身体機能の維持・向上や、日常動作能力などの治療・訓練施設 療護施設 常時介護を必要とする障害者の治療・養護を行う施設 授産施設 自立と社会経済活動への参加に向け、訓練や職業提供を行う施設	施設サービス (施設訓練等支援)

身体障害者・知的障害者福祉ホーム、共同作業所などの利用、補装具の交付や修理、日常生活用具の給付などは、従来どおりです。

サービスを利用するための手続き

▲ 利用者がすること
▼ 市がすること

情報収集・相談

支援費制度では、サービスの内容やサービスを提供する事業者などを、利用者を選びます。始めは、どのようなサービスを、どのように利用したらよいかについてなどを、市障害福祉課などで相談したり、情報収集したりしてください。

支援費の支給申請

市障害福祉課に支給申請をします。申請に必要なもの
 申請書
 添付書類（利用者負担額を決めるための、本人や扶養義務者の収入や課税状況などが確認できる書類や資料）
 医師の診断書（必要なとき） など
 申請する人が一度に集中しないよう、受付の日程などを後日お知らせします。

申請内容の審査
支給決定

市障害福祉課の職員が利用者から聴き取りをし、サービスの内容とその量、利用者負担額などを決定し、後日「受給者証」を交付します。

検討する内容
 障害の種類とその程度や、その他の心身の状況
 介護を行う人（障害児の場合は保護者）の状況
 支援費以外の保健医療サービスや福祉サービスの利用状況
 利用する本人の意向
 利用者の置かれている環境

「受給者証」の交付

「受給者証」に記載される内容
 サービスの内容
 サービスを利用する期間
 利用者負担額
 サービスの量（居宅支援のとき）
 障害程度区分（施設支援のとき）

利用の申し込みと契約

サービスを提供する事業者や施設に受給者証を提示して申し込み、サービスの内容を確認して、契約します。

利用者の負担額を支払う

サービスの利用者は、利用者負担額を事業者や施設に直接支払います。

支援費の支給

サービスにかかる費用のうち、利用者負担額を除く分は、支援費として、市が事業者や施設に支払います。

ふれあいのまち 差別のないまち

9月は 同和問題啓発強調月間 です



強調月間
シンボルマーク

9月は同和問題啓発強調月間です。「ふれあいのまち 差別のないまち」をメインテーマに、さまざまな啓発行事が実施されます。

多くの皆さんが参加して人権意識の高揚を図り、差別のない明るく住みよい社会を築くため、身近なところから一人ひとりが実践しましょう。

テレビ番組「ふれあいTVスクエア」

放送日時 9月11日(水) 22:20~22:50

(再放送) 15日(日・祝) 11:00~11:30

放送局 びわ湖放送 (BBC)

内容 人権意識調査の結果から見える課題について考えるとともに、同和問題における結婚問題について考えます。なお、この番組は4回シリーズの第1回で、キャスター見城三枝子さんと地域で取り組む県民の皆さんに出演していただき、さまざまな人権問題について話し合います。

じんけんフェスタしが2002

日時 9月28日(土) 10:00~17:00

場所 栗東芸術文化会館 さきら

内容

- ◆安藤和津トークショー
- ◆タケカワユキヒデ ハートインハートコンサート
- ◆人権を考えるシンポジウム
- ◆寺島保行 語りLIVE「魂 炎の如く」
- ◆「滋賀の健康福祉を实践する130人会議」参加型フォーラム
- ◆人権啓発パネル展 ほか

住まいの環境を清潔に

秋の大掃除をしましょう

秋の大掃除の季節となりました。日ごろ掃除のできていないところを掃除したり、畳、じゅうたんを上げるなどして、住まいの環境を清潔にしましょう。

実施期間 9月1日(日)~同30日(月)

実施区域 全市域

ごみを収集に出すときは、正しい分別にご協力ください。また、大量のごみが出た場合は、自ら困清掃センター(野瀬町)に搬入くださるようお願いします。

搬入時間 月~金曜日(祝日、振替休日は除く)の

9:00~12:00、13:00~16:15

問い合わせ先 困清掃センター ☎22-2734



ひこね市文化プラザ ☎26-8601 FAX 26-8602
URL <http://longlife.city.hikone.shiga.jp/plaza/>
9月の休館日: 2月・9月・17(火)・30(月)

☎マーク: 託児サービスがあります。(要予約)
🚗マーク: 公演終了後、彦根駅行き・南彦根駅行きの臨時バスの便があります。

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200

- 9月 10日(火) 19:00~ **佐渡裕指揮**
🚗 **京都市交響楽団特別演奏会**
指定 S席5,500円 A席4,500円 B席3,500円 【好評発売中】
- 24日(火) 18:30~
スリヂェストン吹奏楽団久留米 彦根公演
【入場無料・ただし、入場整理券(配布中)が必要です】
- 28日(土) 14:00~ **ガンバルひこねの音楽家たち Vol.2**
🚗 **北島都也(ソプラノ)・陣内亜紀子(サクソ)**
ジョイントリサイタル
自由 大人2,000円 高校生以下1,000円
(当日は、各500円高) 【好評発売中】
- 4日(金) 19:00~ **ジャズコンサート**
🚗 **KEIKO LEE Concert Tour 2002**
指定 4,500円 【好評発売中】
- 10月 13日(日) 14:30~
由紀さおり・安田祥子童謡コンサート
~歌うた唄 Vol.6~
指定 S席5,500円 A席4,500円 【好評発売中】
- 18日(金) 19:00~
🚗 **錦織 健 テノールリサイタル**
指定 4,000円 【好評発売中】
- 22日(火) 18:30~ **民族芸能公演(フィジー諸島共和国)**
🚗 **ザ・ダンスシアター・オブ・フィジー**
自由 2,000円(当日は2,500円) 【好評発売中】
- 26日(土) 14:00~
高木充江ソプラノリサイタル ~愛する日本の歌~
自由 3,000円 【好評発売中】

- 11月 4日(金) 19:00~
🚗 **劇団四季フレンチミュージカル「壁抜け男」**
指定 S席8,400円 A席6,300円 B席5,250円 【好評発売中】
- 11月22日(金) 19:00~
🚗 **花*花 tour 2002-2003「リンゴとクローバー」**
指定 4,200円 【好評発売中】
- 12月10日(火) 19:00~
ミシユク ロマンティック・ピアノ
指定 3,000円 【9月15日(日)発売開始】
- 12月14日(土) 18:30~ **市民参加 年末・ひこねの風物詩**
🚗 **第5回 ひこね市民手づくり第九演奏会**
自由 1,500円(当日は2,000円) 【9月15日(日)発売開始】
- 12月18日(水) 19:00~
🚗 **リーディングドラマ「永遠の愛を誓って」**
自由 1,500円(当日は1,800円) 【9月22日(日)発売開始】
- 12月22日(日) 15:00~ **市民参加のクラシックバレエ**
🚗 **「くるみ割り人形」(全2幕)**
指定 1階席3,000円 2階席1,500円【9月22日(日)発売開始】

子どもセンター ☎28-3645 FAX 28-3645
URL <http://longlife.city.hikone.shiga.jp/children/>
9月の休館日: 2月・9月・17(火)・18(水)・24(火)・30(月)

- 9月 13日(金) 18:30~21:00【悪天候の場合は14日か15日に延期】
第5回天文の夕べ
「どこまで見えるかな太陽系
—天王星・海王星を探そう—
☆参加費: 300円(小学3年生以下は無料)
☆まばらな秋の夜空の星座を探しながら、天王星・海王星を観望します。
※開催当日、16:30以降に開催の有無をお問い合わせのうえご来館ください。
- 15日(日祝) 13:30~15:30(受付は13:00~)【参加無料】
子どもわいわい広場
「コリントゲームをつくろう」
☆空き箱とフィルムケースやわりばし・ペットボトルのふたなどを使ってコリントゲームを作ります。
☆対象・定員: 幼児~小学生 先着20人
※小学校低学年以下は、保護者が同伴してください。
- 27日(金) 19:00~21:00 【悪天候の場合は中止】
おでかけ天文の夕べ
「星空ひろばII」
☆会場: みずほ文化センター(田原町) 駐車場
☆参加費: 無料
☆秋の星座探しを中心に、まばらな星空の奥(銀河系の外)を観望します。
※開催当日、16:30~17:15に開催の有無をお問い合わせのうえご来館ください。
- 28日(土) 14:00~14:30
子どもわいわい広場
「秋彩ハーモニー」
☆秋をイメージした曲をピアノや琴で演奏したり、歌ったりして楽しめます。
【参加無料】



市民体育センター ☎23-2293 FAX 23-2294
URL <http://longlife.city.hikone.shiga.jp/sports/>
9月の休館日: 3(火)・10(火)・17(火)・18(水)・24(火)

- 9月 15日(日祝) 13:30~16:30
フレッシュスポーツデー
☆だれでもできるニュースポーツを紹介します。気軽に参加してお楽しみください。
- ダブルダッチ**
☆予定種目: ダブルダッチ、ソフトバレーボール、ラージボール卓球 ほか
☆参加費: 小学生以上1人200円(当日、受付でお支払いください。)
※運動のできる服装と体育館シューズをご持参ください。



ひこね第九オーケストラを指揮する佐渡裕さん

指揮の極意は「シヤンケンボン」 佐渡裕さん、演奏会を前に指揮者クリニック

9月10日(火)、ひこね市文化プラザで京都市交響楽団演奏会で指揮する佐渡裕さん。レナード・バーンスタインの最後の愛弟子と言われ、第39回プザンソン世界指揮者コンクール優勝などの輝かしい経歴を持つ、国際的な指揮者です。

7月19日には、その佐渡裕さんがひこね市文化プラザで「彦根を滋賀県の音楽活動の拠点に」と、県内初となる貴重な公開クリニックを行い、地元や名古屋で活動するアマチュア指揮者を指導しました。間近で見た一流の指揮者は、どんな印象を与えたでしょうか。モデル・オーケストラ



澤さん

ラとして舞台上上がった「ひこね第九オーケストラ」のコンサートマスター・澤純子さん(銀座町)に感想をお聞きしました。

「あの佐渡裕さんが来るといって、私たちがオーケストラも楽しみにしていました。」

なかには、仕事を休んで参加した団員もいるぐらいです。

佐渡さんはとても気さくな親しみやすい人柄です。アマチュア指揮者の人たちにアドバイスするときも、「曲のスタートは『シヤンケンボン』という感じで」と、ユニークな表現で上手に教えていました。

佐渡さんの指揮者としての魅力はその人柄によるものも大きいと思います。佐渡さんの音楽への情熱や、個性が背中から見えている観客にも伝わるのが、佐渡さんの人気につながっているのではないのでしょうか。

9月10日の演奏会では、佐渡さんの十八番、シヨスタコーピツの交響曲第5番を演奏するそうです。佐渡さんの創り出す緊張感やオーケストラの爆発が今から楽しみです。」

PLAZA FESTIVAL プラザ・フェスティバル 出場者募集

ひこね市文化プラザでは、地域に根ざした新しい文化の創造と情報発信を目指す皆さんに、舞台を提供します。各ジャンルで日ごろから精進している人々の発表の場として、また、既成の作品にとらわれないオリジナリティに富んだ舞台を創造する機会として利用してください。問い合わせ先 ひこね市文化プラザ ☎26-8601、FAX26-8602

- 応募資格** 次のいずれかに該当する個人または団体
- ① 彦根市内に在住、在勤、在学する人
 - ② 彦根市を中心に活動している人
 - ③ 彦根市出身者(団体の場合は、彦根市出身者を中心とした団体)募集ジャンル
 - ① チャレンジ部門
 - ② 邦楽部門
 - ③ バレエ部門
 - ④ 演劇部門
 - ⑤ クラシック部門
 - ⑥ 邦舞部門
 - ⑦ 児童劇部門
 - ⑧ 形劇等
- 以下の6部門に属さない舞台芸術、または2部門以上のジョイント(ただし、エコーホールの舞台で可能なものに限ります。)
- ① チャレンジ部門
 - ② 邦楽部門
 - ③ バレエ部門
 - ④ 演劇部門
 - ⑤ クラシック部門
 - ⑥ 邦舞部門
 - ⑦ 児童劇部門
 - ⑧ 形劇等
- 公演日と使用ホール**
- ① チャレンジ部門 平成15年1月26日(日) エコーホール
 - ② 邦楽部門 2月9日(日) エコーホール
 - ③ バレエ部門 2月11日(祝) グランドホール
 - ④ 演劇部門 2月22日(土) エコーホール
 - ⑤ クラシック部門 2月23日(日) エコーホール
 - ⑥ 邦舞部門 3月16日(日) グランドホール
 - ⑦ 児童劇部門 3月23日(日) メッセホール
- 応募方法** 申込書(ひこね市文化プラザ、市民会館、みずほ文化センター、市役所1階受付、支所・各出張所、各地区公民館にあります)に必要事項を記入のうえ、ひこね市文化プラザへ提出してください。
- ※電話による応募はできません。
- 募集期間** 9月15日(土)~10月15日(火)
- ※応募者多数のときは、主催者で選考します。
- ※チャレンジ部門の応募には、企画書が必要です。
- 注意事項** 各ジャンルとも、日程などが変更となる場合があります。
- ※持ち時間・出演順などは、部門別に出演者合同会議を開いて決定します。



開館時間 8:30~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 9月に休館日はありません。ただし、17日(火)~19日(休)は、
展示替えのため一部の展示室を休室します。

観覧料 常設展料金 () 内は30人以上の団体料金
一般 … 500円 (450円)
小・中学生 … 250円 (170円)

テーマ展

開催中 (9月17日(火)まで)
「越前出目家-井伊家伝来能面から-」
9月20日(金)~10月22日(火) 近江中山道400年記念展
「彦根と鳥居本・高宮-城下町の玄関ロー-」
☆中山道から彦根への分岐点であった鳥居本・高宮の両宿と、
「彦根宿」とも呼ばれた城下伝馬町。物資・文化の交流の拠点であった各宿と城下町彦根との関係を紹介いたします。



伝馬町高札写 (彦根城博物館蔵)

9月の催し

7日(土) 14:00~ **聴講無料**
講座『史料 井伊直弼の茶の湯』を読む③
本館学芸員 母利美和 (もり よしかず)

21日(土) 14:00~ **観覧料が必要です**
ギャラリートーク・テーマ展「彦根と鳥居本・高宮-城下町の玄関ロー-」
本館学芸員 野田浩子 (のた ひろこ)

28日(土) 9:00~11:30 (受付時間) **参加無料**
子ども歴史相談室 (小学生~高校生対象)
☆学校で習った歴史や地域のむかしのようすについて、疑問に思ったことや知りたいことを、博物館の学芸員と一っしょに調べましょう。(事前の申し込みは不要です。)

はくぶつかんへ行こう (小学生対象) **参加無料**
毎月 第1土曜日 (1年生~3年生) いずれも10:00~12:00
第3土曜日 (4年生~6年生)
☆博物館が作った子ども用のワークシートなどを用いて学習します。(申込用紙は小学校に配布します。)

第31回 彦根城能

日時 9月21日(土) 18:00~
演目・出演
大蔵流狂言「鳴子遣子」
しげやまちゆうざぶろう 茂山忠三郎ほか
観世流能「自然居士」
じねんこ 野村四郎ほか

指定 A席4,500円 B席4,000円【好評発売中】
(電話予約も受け付けます。)
※託児サービスあります。



第30回彦根城能から

彦根城で秋の風情をお楽しみください

玄宮園で虫の音を聞く会

日時 9月1日(日)~同30日(月) 18:30~21:00
※荒天の日を除き、毎日庭園をライトアップ
場所 玄宮園
入場料 中学生以上300円 小学生 100円

イベント ●土・日曜日、祝日、振替休日には野点茶会(一服700円)、邦楽演奏、舟による園内池回遊などを実施(野点と邦楽演奏は28日(土)を除く)
●28日(土)には雅楽会を実施
●平日は鳳翔台での茶席(一服500円)、毎週木曜日に舟雅楽の夕べなどを実施

問い合わせ先 (社)彦根観光協会 ☎23-0001

※彦根観光協会では、鈴虫提供者を募集中です。電話で連絡ください。受け取りに伺いますので、よろしく願います。

彦根城 ムーンコンサート

(お早めにお求めください)

日時 10月5日(土) 18:30~20:30
場所 玄宮園(雨天のときは彦根城博物館能舞台)
出演 第1部 パラグアイハープ:野中美砂恵
ギター・クアトロ・チャランゴ:真部和久
第2部 フルート:桂 綾子、桂 聡子

入場料 1,000円(全席自由)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

入場券取扱所 (社)彦根観光協会 ☎23-0001
☎観光案内所(彦根駅前) ☎22-2954

とぎの玉手箱

博物館からのメッセージ

扇流し

扇を川に流して遊ぶ「扇流し」。美しい景色ならば、どこかの川でもよいようなものですが、水面に流れる扇といえば、京都嵐山の堰川と決まっています。ときは室町時代のこと。嵐山にほど近い嵯峨の天竜寺へ將軍が出かけたとき、童の扇が風にあおられて渡月橋から堰川へ舞い落ちてしまいました。すると供奉の人々はこれに興じ、我もわれも競って、川に扇を投じたというのです。

当時、扇は必携のアイテムでしたから、將軍お付きの人々はさぞかし贅美を尽くした品を手に入れたことでしょう。もっとも扇流しの屏風は、この時代には一般化してはいませんでしたから、この話は、嵐山という名所にひきつけてイメージされたものに違いありません。身辺の道具である扇を、絵画

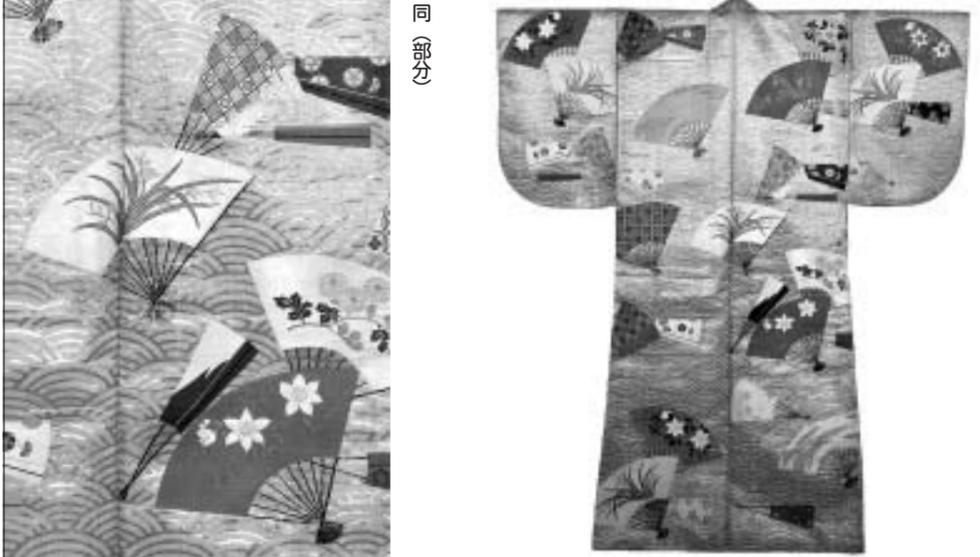
や工芸品にあしらうことは、すでに鎌倉時代に行われ、江戸時代に盛んになりました。扇面を規則正しく配列し、また変化を付けて散らしかけ、さらに流水を加えて扇流しとします。能装束もこの例外ではなく、ここに取り上げた厚板のように、扇面意匠の伝統の重みを感じないわけにはいきません。江戸時代中期(18世紀)の作品です。白色の地の全面に青海波(同心円を重ねた波形の文様)を金糸で配します。この厚板の全体が水であるとの設定です。ここに開いたものから、半開き、そして閉じたものまで、数種類の形の扇を散らしかけるのです。心地よいリズムが感じられます。扇面にはそれぞれ、春蘭、鉄線、菊、桜花、楓葉などの四季

の植物 七宝撃ぎ、斜格子、三つ亀甲といった割り付け文様、そして浜辺をあらわす洲浜文が、落ち着いた色調の色糸であらわされています。

扇は、平安時代に日本で発明され、早くから絵を描いたり、和歌を書きつけることが行われました。もともと単なる道具ではなく、何らかの趣向が凝らされていたのです。扇をモチーフにデザインする要素は、すでに扇に内在していたともいえます。しかもこれを水に流れる扇流しとしたところが、いかにも日本的です。きちつとした構図や繰り返しのパターンによることなく、感覚的に配列していく。配置の角度や位置を変えるだけで、ずいぶん印象は異なります。繊細さと大胆さを兼ね備えたパランス感覚が求められるのです。いいかえれば、こんなところにも、日本人の「間」を重んずる美意識が発揮されているといえます。

(彦根城博物館学芸員 齋藤 望)

写真の厚板は、彦根城博物館の常設展で9月17日(火)まで展示しています。



厚板 白地青海波に扇流し文様 (彦根城博物館蔵)

同(部分)



今回のこの欄に登場するのは、あなたかも？
身近なニュース、まちの話題などをお知らせください
☎情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)



▲金亀公園内に咲いたオニバス
(8月7日、藤本さん撮影)

藤本さん▶

地域の子どもたちの健やかな成長を願って

稲里町老人クラブ会長 藤野久男さん

7月30日朝、稲里町民会館に地元の小学生27人と老人クラブの役員10人が集まりました。20年ほど前から続く夏休み恒例の行事で、子どもたちとお年寄りが楽しく遊んだり食べたりして交流するのです。昨年はカレー、一昨年は流しそうめんというメニューでしたが、今年はおもちつきをしました。
蒸し上げたもち米を、機械を使わず木製の杵と臼でおもちにするだけでなく、石臼を使ったきな粉作りも子どもたちに経験してもらいました。100年以上も昔に作られたと思われる石臼

は、子どもたちの親の世代ですらほとんど見たことがないでしょう。このほかにも、足踏み式の脱穀機など今では使わなくなった農機具や、藁草履作りの実演を子どもたちは興味深そうに見ていました。
最後に、つきたてのおもちに手作りのきな粉をまぶして、集まった全員が舌つづみ。わずか半日ほどのふれあい交流でしたが、先祖から伝わる生活文化に接した子どもたちが、地域社会の一員としてたくましく健やかに育ってほしいものです。



▼「重いきねに負けるな！」

▲藤野さん



▲藁草履作りを興味深そうに見る子どもたち

オニバス観察に通いつめた夏でした

藤本博之さん(古沢町)

7月の下旬ごろ、金亀公園管理事務所近くの水路に、オニバスの花が咲いているのに気づきました。例年は生えないところなのですが、管理事務所の職員さんが水草を掃除してくれたおかげでしょうか。とげに包まれた茎の上に、鮮やかな紫色の花びらを開く姿がユニークです。よく見ると、花の中がピンク色になっているのめかわいらしく思えます。
その翌日にもう一度行ってみると、花の咲き方が前日とは違います。葉も成長しているようです。気になって、その翌日にも見に行きました。そうしているうちに、20日ほども続けてオニバスを見に行くようになりました。

オニバスの花は早朝に咲いて、夕方いったん閉じ、翌日また咲きます。3日ほど咲くと、水中に沈んで姿を見せなくなります。水面から20センチも上で咲く花や、水中で咲く花、葉を突き破って出てくる花や、ぐうんと茎を伸ばして葉の横に顔を出す花と、様子はさまざま、毎日変化していきます。姿を記録した写真も約200枚にもなり、花が咲く過程をビデオにも収めました。
間近に見られるこの場所が、彦根の新名所として多くの人に親しまれるといいですね。

エコサイクリング

～醒ヶ井宿と水の駅めぐり～
◎日時◎9月14日(出) 近江鉄道彦根口駅前(午前9時集合(午後3時解散予定))
◎内容◎彦根口～米原間は自転車と電車に乗る「サイクルトレイン」を利用し、米原～醒ヶ井間は安全で勾配の少ない道をサイクリングします。◎対象◎自転車に乗れる人(年齢不問)◎定員◎50人(先着順) ◎持ち物◎自転車、弁当、水筒、帽子、タオルなど ◎参加費◎1人500円(保険料込み) ※ただし、電車運賃、施設入場料は別 ◎申込期限◎9月7日(出) ◎申込・問い合わせ先◎ひこね市民活動センター「エコサイクリングの会」 ☎・FAX ☎0900番(竹内方)・E-mail:eco_style@hotmail.com

パソコン講座

「エクセル基礎」
◎日時◎9月19日(木)～12月5日(木)(毎週木曜日、全12回)の午後2時～同4時
◎場所◎ひこね燦はれす(小泉町) ◎対象◎市内に在住・在勤の人(学生は除く) ◎定員◎30人(申込者多数の場合は抽選) ◎受講料◎2,400円 ◎教材費◎実費

◎申込期間◎9月2日(月)～同9日(月) ◎土・日曜日(除く) ◎申込・問い合わせ先◎働く婦人の家 ☎0900番



※電話による申込受付はできません

親子文化財めぐり

「彦根探訪ウォーク」
◎テーマ◎中山道脇街道(彦根道)と城下町 ◎日程◎第3回「高宮口、伝馬町を学ぼう」11月21日(出)午前9時30分(西地区公民館に集合) ◎正午 第4回「切通口を学ぼう」11月19日(出)午前9時30分(彦根城博物館に集合) ◎正午 第5回「彦根道と城下町を学ぼう」11月9日(出)午前9時30分(市民会館に集合) ◎正午 ◎対象◎地域の歴史や伝承を学びたい市内在住の小学生とその保護者など ◎参加費◎無料 ◎申込期限◎各開催日の5日前 ◎申込・問い合わせ先◎園教育委員会文化財課 ☎0900番、FAX ☎050909番

自然観察会「タカのわたり」

◎日時◎9月23日(祝)午前10時～午後2時
◎場所◎佐和山 ※東山無料駐車場(龍潭寺前)へ午前9時50分までに集合 ◎内容◎佐和山山頂で、秋になると南国へ帰っていく渡り鳥や、周辺の植物を観察します ◎定員◎40人(先着順) ◎参加費◎無料 ◎持ち物◎昼食、水筒、(あれば)双眼鏡など ◎申込受付◎9月5日(木)から ◎申込・問い合わせ先◎快適環境づくりをすすめる会事務局(園生活環境課内) ☎0900番、FAX ☎050909番



～育てよう 心の中の 未来地図～

勤労青少年ホーム 後期教養講座・クラブ活動のご案内

開設期間 10月～平成15年2月(5か月間)
利用資格 市内に在住・在勤の勤労青少年(おおむね30歳まで)
申込期間 9月5日(木)～同20日(金)(土・日曜日、祝日、振替休日は除く)の9:00～21:00
申込・問い合わせ先 勤労青少年ホーム(平田町) ☎22-8153

申込方法 所定の申込書に必要事項を書いて、次の料金を添えて勤労青少年ホームへ。

受講料: 1講座につき3,000円(後期分)
教材費: 2か月分または全期分
保険料: 災害補償保険料250円(前期利用者は不要)
会費: 利用者の会費1,000円(前期利用者は不要)
クラブ費: 1クラブにつき500円

電話、郵便による申し込みはできません。
各講座とも、申込者多数の場合は抽選します。
(募集定員に満たない場合は、申込期間終了後も受け付けます。
申込者が少ない場合は、開講しないことがあります。

教養講座 開講時間は、18:30～20:30

講座名	曜日	回数	定員	教材費(月額)	
料理	火・金	各15回	各24人	各 2,500円	
華道	池坊	火	15回	20人	3,000円
	翠香	水	15回	20人	3,000円
茶道	表千家	流木	15回	15人	1,500円
陶芸	芸	月	15回	20人	2,500円
お菓子教室	芸	月	15回	24人	2,500円
ビーズ手芸	芸	月	15回	15人	3,000円
パソコン	初級	木	15回	15人	全期4,000円
	中級	火	15回	15人	" 4,000円
手編	み	金	15回	15人	" 4,000円
	習字	木	15回	15人	" 2,000円

クラブ活動 活動時間は、18:30～20:30

クラブ名	曜日	定員
テニス	月～金	50人
七宝焼	水	10人
バレーボール	水	30人
バドミントン	木	30人
卓球	金	30人



※いずれも無料です。

相談名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
行政相談	9月9日(月) 13:00~15:00	市民相談室(市役所1階)	国・県・市などに対する苦情や意見・要望に関する相談 ☎市民広聴室 ☎22-1411 (内線101)
園芸相談	9月9日(月) 13:00~16:00	グリーンピアひこね ☎25-3909	花(草花・球根・宿根草・蘭など)の育て方や管理(予約制)
農の匠相談	9月13日(金) 15:00~17:00		農の匠が、季節ごとの作業のポイントをお伝えします(予約制) ※今月の作業=菊栽培(岩付木付仕立の作り方と手当て)、 野菜料理のいろいろ など
結婚相談	9月18日(水) 13:00~16:00		農家対象(予約制)
営農相談	9月19日(木) 18:00~20:00		農業技術(水稲・野菜・果樹等)に関する事、農業経営に関する事、営農企画に関する事、農地に関する事(予約制)
生活相談	9月9日(月) 18:30~20:30	働く婦人の家	日常生活での心配ごとの相談(女性対象) 働く婦人の家 ☎24-3529
都市景観相談	9月11日(水)・25日(水) 9:00~12:00	団都市計画課(市役所2階)	都市景観アドバイザーが、景観形成に関する相談に応じます ※予約制ではありませんが、なるべく事前に連絡してください ☎都市計画課 ☎22-1411 (内線254)
法律相談	9月17日(火) 13:00~16:00	市民相談室(市役所1階)	電話による予約制(受付は、9月9日(月)午前8:30から先着6人) ☎市民広聴室 ☎22-1411 (内線101)
	9月17日(火) 18:30~20:30	働く婦人の家	予約制(受付は、9月9日(月)午前8:30から先着3人)(女性対象) 働く婦人の家 ☎24-3529
	9月19日(木) 9:00~12:00	湖東合同庁舎(旧・彦根県事務所)	電話による予約制(受付は、9月17日(火)午前8:30から先着6人) 彦根県相談室 ☎077-528-3046
人権相談	9月18日(水) 13:00~15:00	市民相談室(市役所1階)	いじめ、あらゆる差別など、人権に関する相談 ☎人権政策課 ☎22-1411 (内線373)
身体障害者相談	9月18日(水) 13:30~15:30	中地区公民館	自ら身体に障害を持つ人を含む身体障害者相談員による生活相談や福祉施策等の相談 ☎障害福祉課 ☎27-9981
スポーツ相談	9月19日(木) 13:30~15:00	市民体育センター	体力測定とコンピュータによる総合評価 (体育館シューズ・体操のできる服装でお越しください) ☎教育委員会保健体育課 ☎22-8871
巡回家庭児童相談	9月19日(木) 13:30~16:00	佐和山小学校	家庭における子育て、心配ごとの相談 ☎児童家庭課 ☎23-9590
登記表示登記相談	9月20日(金) 13:00~16:00	市民相談室(市役所1階)	相続・売買登記、土地の分筆・合筆、建物登記などの相談 ☎市民広聴室 ☎22-1411 (内線101)
女性の悩み相談	9月21日(土) 9:30~12:30	ひこね市文化プラザ カウンセリング室	臨床心理士(女性)が、幅広い分野の相談に応じます 予約制(受付は、9月5日(木)午前8:30から先着3人) ☎男女参画課 ☎22-1411 (内線361)
就労相談	毎週水曜日、 第2・第4木曜日 9:00~16:00	ひこね燦ぱれす	内職に関する相談、Uターン希望者の就労支援など ひこね燦ぱれす ☎26-7272
消費生活相談	毎週月~金曜日 (祝日は除く) 8:30~17:15	☎生活環境課(市役所1階)	悪質商法の被害、クーリング・オフの方法など、身近な消費生活 や契約にかかわるトラブルに関する相談 ☎生活環境課 ☎22-1411 (内線173)
交通事故相談	毎週月~金曜日 (祝日は除く) 9:00~16:00	湖東合同庁舎(旧・彦根県事務所)	被害者、加害者を問わず、専門の相談員が相談に応じます 県立交通事故相談所彦根支所 ☎27-2230
	毎週月~金曜日 (祝日は除く) 9:30~12:00 13:00~16:40	大津自動車保険 請求相談センター (JR大津駅前 滋賀ビル8階)	自動車損害賠償責任保険、任意自動車保険の請求に関する相談 ※弁護士による相談(予約制)も随時受け付けています 大津自動車保険請求相談センター ☎077-525-3954

イモ掘り体験

〈趣旨〉サツマイモの収穫を通して農業への関心を深め、地場野菜の良さを味わう。〈日時〉10月6日(日)午前9時~正午。〈内容〉サツマイモの収穫、農家との交流会(試食会)など。※収穫したサツマイモは、参加者に配ります。〈場所〉グリーンピアひこね(清崎町)付近の畑。〈対象〉市内に在住の人(家族ぐるみでの参加を歓迎)。〈定員〉35人(先着順)。〈参加費〉小学生以上1人1,000円。〈申込期間〉9月

1月4日(水)同24日(火)(土・日曜日、祝日、振替休日は除く)〈申込・問い合わせ先〉グリーンピアひこね ☎ ☎3909番、FAX ☎3972番

「早くご駆伝」参加チーム

〈日時〉10月27日(日)午後1時30分スタート。〈コース〉彦根城内特設コース(約1.1km)。〈参加資格〉18歳以上の人(9人で1チーム)。〈募集団体数〉15チーム(先着順)。〈応募受付〉9月2日(月)から。〈申込方法〉お問い合わせ

「市民の森」植樹

「市民の森」植樹は、人々の生活に潤いとやすらぎを与えてくれる「みどり」を増やすため、市民の皆さんに森づくりの実践活動に参加していただくこととするものです。植樹の場所 荒神山公園(日夏町)内。植樹の日 平成15年3月2日(日)樹木の種類 サクラ類(ソメイヨシノ、オオシマザクラ、サトザクラなど)植樹の方法 応募者自らが苗木を持参し、植栽し、その後の維持管理も行っていただきます。定員 30人(先着順)応募期間 9月10日(火)~平成15年2月14日(金)応募方法・問い合わせ先 往復はがき往信の裏に氏名、住所、電話番号、植樹したい樹種を、返信の表にも住所、氏名をそれぞれ書いて☎都市計画課公園緑地係 ☎522-8501 ☎21411番内線259番、FAX ☎2400517番へ。

昨年の大会から



「早くご駆伝」はがきにチーム名、代表者の住所・氏名・電話番号、大会に臨む抱負を書いて、市観光課内「早くご駆伝競争大会」係(T552-8501) ☎21411番内線333番へ

滋賀県立大学 交流センター公開講演

〈日時〉10月26日(土)午後1時30分~同3時20分。〈場所〉滋賀県立大学(八坂町)交流センターホール。〈演題〉家族はどこまで変わったか。〈講師〉東京大学大学院教授 上野千鶴子さん。〈対象〉高校生以上。〈定員〉600人(申込者多数の場合は抽選)。〈受講料〉無料。〈申込期限〉10月11日(金)。〈申込・問い合わせ先〉はがきに住所、氏名、電話番号を書いて滋賀県立大学交流センター(T552-8503)へ。電話 ☎ ☎8210番、FAX ☎84703番。E-mail: kikaku@office.usp.ac.jpでも受け付けます。

彦根シティマラソン ボランテニアスタツ

〈大会の日時〉11月10日(日)午前9時30分スタート。〈ボランテニアの出発時間〉同日午前8時30分~同11時。〈業務内容〉交通整理係、給水係など。〈応募期限〉10月15日(火)。〈申込・問い合わせ先〉彦根シティマラソン実行委員会事務局 ☎ ☎8871番

ミシガン州立大学連合日本センター 留学生ホストファミリー

〈ホームステイの目的〉日本家庭での日常生活を通して、異文化理解と国際交流を深めます。〈受入対象者〉ミシガン州立大学連合日本センターに在学する留学生。〈受入期間〉1か月以上(個々の学生ごとに異なります)。〈受入時期〉必要に応じて同センターから連絡します。〈費用負担〉1か月につき4万円が同センターから支払われます。〈ホストファミリーの条件〉①学生の受け入れに関して家族全員の同意があること。②学生に個室(和洋の別、部屋の広さは問いません)を提供いただけること。③同センターへの通学所要時間が片道1時間以内であること。〈応募・問い合わせ先〉同センター ☎ ☎3400番、FAX ☎ ☎9350番

平成15年度 彦根市春の文化祭協賛事業

〈対象事業〉平成15年4月~6月に開催される展示、発表など。〈対象団体〉文化芸術関係団体、社会教育関係団体またはこれらに準ずる団体で、過去に市内外で展示、発表会などの活動実績がある団体。〈協賛事業になる利点〉①彦根市・彦根市教育委員会・財彦根市文化体育振興事業団の後援名義が使用できます。②会場使用料の減免申請ができます。③市民会館、ひこね市文化プラザおよびみずほ文化センター(50%の減免) ※ただし、冷暖房・備品の使用料などは減免の対象になりません。④広報ひこね、文化祭ポスターなどによるPRができます。〈申込上の注意〉申し込みには、使用する施設の使用許可書または仮使用申込書の写しが必要です。〈申込書・募集要項配布場所〉☎教育委員会事務局(市民会館2階)、市民会館、市役所1階受付、支所・各出張所、各地区公民館、高宮地域文化センター、みずほ文化センター、ひこね市文化プラザ、同学習情報コーナー。〈申込期限〉10月31日(木)。〈応募・問い合わせ先〉☎教育委員会生涯学習課 ☎ ☎7971番、FAX ☎ ☎9190番

阪神・淡路大震災で被災した人に対する公庫融資の特例措置

住宅金融公庫では、阪神・淡路大震災で被災された人の住宅再建に対し、特例措置により災害復興住宅融資を行っています。この特例措置は、平成14年度末までに「災害復興住宅に関する認定書」(被災住宅の補修の場合は、「り災証明書」でもよい)の発行申請を被災地の地方公共団体に行った人について、平成17年度末まで適用期限が延長され

ました(認定書の判定が「適格」となった人に限ります)。阪神・淡路大震災で被災された人で、いまだ当該認定書(補修の場合は「り災証明書」)の発行申請をしていない人は、平成14年度中に必ず申請を行ってください。問い合わせ先 住宅金融公庫大阪支店公共業務課 ☎06-6281-9268

※いずれも無料です。

行 事 名	日 時	場 所	内 容・問 い 合 わ せ 先 等
写真展 「2001高宮太鼓 in 御堂筋パレード」	9月1日(日)～10月31日(木) 8:30～17:30	高宮駅コミュニティセンター (ギャラリー)	内 容:「御堂筋パレード2001」に出場した高宮太鼓を写した 写真展 高宮駅コミュニティセンター運営委員会 ☎22-1963 (馬場方)
多賀町立文化財センター 文 化 財 講 座	9月7日(出) 14:00～15:30	多賀町立文化財センター (犬上郡多賀町多賀四手)	テーマ:近江の弥生時代と古墳時代 講 師:近江町はにわ館 宮崎幹也さん 定 員:45人(先着順) 多賀町立文化財センター ☎48-0348、FAX48-8055 ※土・日曜日は多賀の自然と文化の館 ☎48-2077へ
楽しいおはなしの つ づ き	9月7日(出) 14:00～	市 立 図 書 館 ☎22-0649	内 容:かげ絵…だいじょうぶだいじょうぶ まき絵…たろうのおでかけ 出 演:ひこね児童図書研究グループ
儀間比呂志さん講演会	9月8日(日) 13:30～		テーマ:絵本の世界 ニライ・カナヘへの夢 内 容:絵本作家 儀間比呂志さんが自作について語ります 定 員:80人(先着順)
絵本をたのしむ つ づ き	9月14日(出) 14:00～	大 手 前 公 園 (金亀町=旧近江高校跡地)	内 容:ブックトーク…本の紹介をしながら絵本を読みます 出 演:ひこね児童図書研究グループ
ひこねエコマーケット 「夢 畑」	9月8日(日) 10:00～14:00 雨天のときは中止		内 容:ごみを減らし、環境にやさしい生活を提案します リサイクル品、手作りの作品などの市(い)ちから掘り出し 物を見つけてください ☎生活環境課 ☎22-1411 (内線129)
小江戸彦根の骨董市	9月14日(出)・15日(日・祝) 10:00～17:00	彦根城 二の丸駐車場	絵画・書・美術品をそろえた店が出店(約20店) (社)彦根観光協会 ☎23-0001
彦 根 朝 市	9月15日(日・祝) 7:00～	いろは松駐車場	販売品:新鮮な季節の野菜、しじみ、卵、漬物など 販売者:彦根朝市組合 ☎農政課 ☎22-1411 (内線318)

動く図書館 **たちばな号**

巡回日程【9月後半】 市立図書館 ☎22-0649

日・曜日	駐 車 場	時 間
17日(火)	西 清 崎 町 浄 宗 寺 龜 山 ニ ュ ー タ ウ ン 日夏ニュータウン第2期集会所前	13:30 14:20 15:10
18日(水)	開 出 今 町 菅 原 神 社 蔵 の 町 団 地 中 央 部 開出今第2団地(旧県立短大前)	13:20 14:10 15:00
19日(木)	平 田 町 大 沢 高 岸 B 公 園 西 今 町 松 田 団 地 若 葉 小 学 校	11:00 13:20 14:10 15:00
20日(金)	稲 里 町 公 民 館 稲 枝 地 区 公 民 館 稲 枝 公 館 前	13:30 14:20 15:10
24日(火)	千 鳥 ヲ 丘 会 館 横 岡 町 彦 根 自 動 車 学 平 田 町 明 照 寺 前	13:15 14:00 14:50
25日(水)	大 下 町 農 業 倉 庫 後 三 条 説 教 場 中 一 丁 目 白 山 神 社	13:20 14:10 15:00
27日(金)	新 海 町 公 民 館 田 附 町 公 民 館 本 庄 町 公 民 館	13:30 14:20 15:10
28日(土)	普 光 寺 町 公 民 館 彦 富 町 公 民 館 金 沢 町 公 民 館 港屋駐車場東(旧平和堂稲枝店)	11:00 13:10 14:00 14:50

駐車場での駐車時間は、30～40分間です。

図書館休館日	15日(日・祝)、16日(月・振)
9月後半	23日(月・祝)、26日(木)、30日(月)

図書館やたちばな号の利用は無料です。

芸術の秋を彩る **彦根市美術展覧会**

会 期 9月13日(金)～同18日(水)
開場時間 各日とも9:30～18:00 (18日は17:00まで)
会 場 ひこね市文化プラザ
日 本 画 = メッセホール棟2階
洋 画 = グランドホール第1・第2リハーサル室
彫 刻 = メッセホール棟3階
美術工芸 = メッセホール棟2階
書 = メッセホール棟3階
写 真 = メッセホール棟1階

問い合わせ先 団教育委員会生涯学習課 ☎24-7971、FAX23-9190

し尿収集予定日 9月後半
彦根市事業公社 ☎23-4135

4月から、一部の区域で収集順を変更しています。収集予定日が3月までと大幅に異なる場合もありますので、この表で確認くださいようお願いいたします。
臨時の収集については、早めにお申し込みください。
(臨時の収集は、原則として毎週火・金曜日に実施します。)
収集の状況によって、収集日が3日程度前後することがありますが、ご了承ください。

17日(火)	船、旭、元、後三条(上)、岡、西沼波(東部を除く)、甘呂、八坂、龜山地区、金沢(長江)、服部、稲枝(西)、彦富
18日(水)	新、芹中、大橋、西沼波(東部を除く)、東沼波、大堀、日夏、八坂、龜山地区、稲枝(東)、肥田(西肥田を除く)、彦富
19日(木)	元岡、沼波、東沼波、大堀、日夏、龜山地区、稲部(稲部東)、野良田、稲部(南稲部)
20日(金)	鎌(第2・3部)、河原一丁目、河原二丁目、河原三丁目、日夏、鳥居本地区、龜山地区、稲部(南稲部)
24日(火)	日夏、鳥居本地区、龜山地区、稲里、金田、稲部(稲部)、石寺(上石寺・下石寺)、彦富(笹田団地)
25日(水)	古沢、松原(四ツ川を除く)、日夏、鳥居本地区、高宮地区、河瀬地区
26日(木)	日夏、高宮地区、河瀬地区
27日(金)	高宮地区、河瀬地区
30日(月)	小泉、高宮地区、河瀬地区

追加受付を行います
入札参加資格審査申請

雨契約監理室

平成14年度において市が発注する建設工事の入札などに参加を希望する業者の入札資格審査申請の追加受付を次のとおり行います。

受付対象者 現在、建設工事部門において登録のない業者で、市内に主たる営業所

を有する者
資格有効期間 平成14年10月1日から同15年4月30日までの7か月間

受付期間 9月9日(月)～同20日(金)・木曜日、土・日曜日、振替休日を除く(7日間)

受付時間 午前9時～同11時30分、午後1時～同4時

受付場所 雨契約監理室(市役所別館2階)

資格要件の緩和 平成14年度

分譲宅地 随時受付中

彦根市土地開発公社

所在地、価格など

高宮中北団地(高宮町)5区画=164～286㎡、941～1,541万円
福満第3次団地(西今町)5区画=210～332㎡、1,811～3,253万円
鳥居本樋ノ口団地(鳥居本町)6区画=207～258㎡、1,415～2,012万円
西今町字狐塚(西今町)119㎡、1,078万円

申込資格 市内に在住または在勤の人で、自分の住宅を建設するための宅地を必要とし、分譲代金の一括払いができる人
土地売買契約には、契約締結後3年以内に居住用の住宅を建築することなど、買戻特約があります。

申込・問い合わせ先 月～金曜日(祝日、振替休日、年末年始は除く)の8:30～17:15に、彦根市土地開発公社(市役所3階) ☎22-1411(内線368)、FAX22-8050へ(先着順に受付)

統計で働く姿を見よう
就業基本調査

総務省統計局

10月1日現在で、就業構造基本調査を実施します。この調査は、5年に1度行われるもので、我が国における就業・不就業の実態を明らかにし、雇用・失業対策などを立案するうえでの基礎資料を作成するためのものです。

調査の対象となった世帯には、9月上旬から統計調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。

お問い合わせ先 雨企画課 ☎22-1411 番内線417番、FAX ☎22-1398 番

※総務省統計局ホームページ <http://www.stat.go.jp/>

選挙人名簿に登録申請を
琵琶湖海区
漁業調整委員会委員

雨選挙管理委員会

9月1日現在で、次の資格のある人は申請してください。申請用紙は、雨選挙管理委員会事務局(市役所4階)にあります。

申請資格

◆市内に住所または事業場のある人で、年間90日以上漁船を使用して漁業を営み、または漁業者のために漁船を使用して水産動植物の採捕もしくは養殖に従事している人で、本年12月5日現在で20歳以上の人

◆その他漁業者等の範囲の拡大、漁業組合等の役員についての資格がありますので、詳しくはお問い合わせください。

申請期間 9月1日(日)～同5日(木)

申請・問い合わせ先 雨選挙管理委員会事務局 ☎22-1411 番内線462番、FAX ☎22-1398 番



秋の文化祭

主催:彦根市・彦根市教育委員会・勸彦根市文化体育振興事業団

問い合わせ先 団教育委員会生涯学習課 ☎24-7971

【9月の行事】

行 事	期 間	時 間	会 場
第16回 みずえの会水彩画展	9月6日(金)～9日(月)	9:30～16:30 (9日は16:00まで)	市民ギャラリー
佐渡裕(さど ゆたか)指揮 京都市交響楽団特別演奏会	9月10日(火)	19:00～	ひこね市文化プラザ グランドホール
第51回 彦根市美術展覧会	9月13日(金)～18日(水)	9:30～18:00 (18日は17:00まで)	ひこね市文化プラザ グランドホール
第31回 彦根城能舞台	9月21日(出)	18:00～	彦根城博物館能舞台
石 峰 会 書 道 展	9月22日(日)・23日(月・祝)	9:30～16:00	市民ギャラリー
沖縄復帰30周年記念 ひとり芝居「おばばの熱演」	9月23日(月・祝)	13:30～	ひこね市文化プラザ メッセホール
北島都也(きたじまみや)・陣内亜紀子(じんのうちあきこ) ジョイントリサイタル	9月28日(出)	14:00～	ひこね市文化プラザ エコホール



健康管理だより

両健康管理課

(平田町・福祉保健センター1階)

☎24-0816

FAX24-5870



両健康管理課の
マスコットキャラクター
“けんかんくん”



10か月に なりました

山下 誠大ちゃん
(佐和山町)

岩村 光ちゃん
(西今町)

小林 結大ちゃん
(川瀬馬場町)

予 防 接 種

☆平成14年度から、集団接種において、次のとおり病気が治ってから予防接種できるまでの間隔が変更になりました。

治ってから4週間たないと
予防接種を受けられない病気

麻疹、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜ

治ってから2週間たないと
予防接種を受けられない病気

突発性発疹、リンゴ病、インフルエンザ、手足口病、その他ウイルス性の病気

※これらの期間は目安であり、これ以上の間隔が開いていても、お子さんの健康状態によっては予防接種を受けられない場合があります。

ーツベルクリン反応検査・BCG接種ー

対 象

- 平成14年6月出生児(対象児には、「説明書・予診票つづり」を郵送します。)
- 判定日に4歳未満児で、生後1度もBCG接種を受けていない児

日 程

ツベルクリン 反 応 検 査 10月2日(水)	48時間後	判 定・ B C G 接 種 10月4日(金)
-------------------------------	-------	-------------------------------

受付時間 13:10~14:10

場 所 福祉保健センター

(判定の結果、陰性の児には医師の診察後、BCG接種があります。)

※ツベルクリン反応検査・BCG接種の対象年齢は4歳未満となっていますが、できるだけ1歳までに受けるようにしてください。

ーポ リ オー

日程・対象

実施日	対 象
10月22日(火)	平成13年(2001)6月以前の出生児で、服用当日7歳6か月未満児のうち、2回服用していない児
10月23日(水)	平成13年7月・8月の出生児
10月28日(月)	平成13年9月・10月の出生児
10月29日(火)	平成13年11月・12月の出生児
10月30日(水)	平成14年(2002)1月・2月の出生児
11月1日(金)	平成14年3月・4月の出生児
11月5日(火)	平成14年5月・6月の出生児
11月26日(火)	上記日程で服用できなかった児

受 け 方

- 6週間以上の間隔をあけて2回服用

時 間 13:10~14:10

場 所 福祉保健センター

※できるだけ対象となる日にお越しください。
※対象年齢は7歳6か月未満となっていますが、できるだけ1歳6か月までに2回服用するようにしてください。
※下痢のときには服用を避けてください。

ー日本脳炎(個別接種)ー

対 象

- 彦根市に住居登録、外国人登録のある平成11年8月以降に生まれた児

※平成11年7月以前に生まれた児は、集団接種を行います。(個別接種の対象にはなりません。)

接種時期

年間を通じて実施(9月1日から開始)

接種料金

無料

実施医療機関

右の表のとおり

申込方法

右のいずれかの医療機関に事前に電話で申し込んでください。

ー 風 し ん ー

彦根市では、中学校2年生を対象に集団接種を実施しており、風しん(三日ばしか)にかかった人を除き、ほとんどの人が接種を済ませていると思われませんが、未接種の人で希望する人を対象に次のとおり実施します。

※この接種は、平成13年10月の予防接種法改正に伴うもので、同15年9月30日までの経過措置です。

対 象

昭和54年4月2日から同62年10月1日までに生まれた人で、風しん予防接種(MMRを含む)未接種の人

※ただし、過去に風しんにかかったことのある人は対象になりません。

実施期間

平成14年9月1日~同15年9月30日

接種料金

無料

日本脳炎予防接種 実施医療機関一覧

医療機関名	所在地	電話番号
岡 田 医 院	橋向町44	22-1505
奥 野 小 児 科 医 院	本町二丁目2-11	22-0634
尾 田 医 院	野瀬町18-1	24-3096
きたむら内科医院	長曾根南町448-25	22-9617
橋 地 (きつじ) 医 院	栄町二丁目6-47	23-2057
小 林 医 院	京町二丁目7-38	22-0247
小 森 医 院	旭町2-18	22-2714
せ い 医 院	京町三丁目4-48	27-1521
曾 我 医 院	清崎町878	28-2925
高 崎 医 院	西葛籠町164	28-0210
高 村 外 科	中央町3-10	22-0650
高山内科・循環器科	日夏町2680-35	28-7007
田 口 診 療 所	彦富町905-3	43-6600
田 中 医 院	城町二丁目2-6	22-1354
堤 医 院	原町850-214	24-0533
徳 田 医 院	出路町218-1	43-7001
成 美 (なるみ) 医 院	賀田山町240-2	28-1323
西 川 医 院	鳥居本町1732	22-3887
橋 本 医 院	上西川町385	43-2207
ひまわり診療所	平田町230-10	27-2473
ふ じ せ き 医 院	高宮町2037	23-2233
光 吉 医 院	本町二丁目5-2	22-1141
宮 下 内 科 医 院	芹橋二丁目9-56	22-0383
安 澤 内 科 診 療 所	高宮町2290	22-0954
山 崎 外 科	河原三丁目1-20	22-1888
山 下 医 院	後三条町649	24-5290
横 野 医 院	大藪町2035-4	24-1515
彦 根 中 央 病 院	西今町421	23-1211
彦 根 市 立 病 院	八坂町1882	22-6050

実施場所

市指定医療機関(申し込み時に個別に案内します。)

申込方法

電話で両健康管理課☎24-0816へどうぞ。折り返し予診票などをお送りします。

※未成年者の接種にあたっては、保護者同伴を原則とします。

市民健康診査

(基本健康診査・結核健康診断・肺がん検診)

内 容 血圧測定、尿検査、血液検査、内科診察、胸部レントゲン検査など

対 象

- 基本健康診査 昭和7年(1932)4月2日~同59年(1984)4月1日生まれの人
- 結核健康診断 4月1日現在15歳以上の人
- 肺がん検診 受診当日40歳以上の人
- ※4月1日現在で70歳以上の人には、別に健康診査を実施しましたが、胸部レントゲン検査はありませんでしたので、この機会に受診してください。

日 程

実施日	場 所	受付区分
9月10日(火)	千鳥ヶ丘会館	午後
9月11日(水)	千鳥ヶ丘会館	午前・午後
9月13日(金)	旭森地区公民館	午前・午後
9月17日(火)	東 山 会 館	午前・午後
9月18日(水)	ハピネスひこね(馬場一丁目)	午前・午後
9月19日(木)	西 地 区 公 民 館	午前・午後
9月20日(金)	西 地 区 公 民 館	午前・午後

受付時間 午前……9:30~11:00
午後……13:00~14:30

※受診票は個人あてに郵送します。受診票が届かない場合は、直接会場へお越しください。

※血液検査がありますので、午前中に受けられる場合は朝食を、午後受けられる場合は朝食をとらずにお越しください。

※今年度から5年計画で、B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス検査を実施します。

今年度の対象者

- ①4月1日現在で39歳、44歳、49歳、54歳、59歳、64歳、69歳の人
- ②40歳以上で、次のいずれかに当てはまる人
 - 肝臓病や肝機能が悪いと言われたことのある人
 - 大きな手術を受けたり、妊娠・分娩時に多量に出血したことのある人で、定期的に肝機能検査を受けていない人

※胸部レントゲン検査を除き、料金(600円~2,800円)が必要ですので、小銭をご用意ください。(おつりのいらぬようご協力をお願いします。)

※受診直前の尿(10ccぐらい)をお持ちください。
※健康手帳のある人はお持ちください。



らくらく禁煙相談

日 時 9月11日(水) 9:00~11:00

場 所 福祉保健センター

定 員 6人(予約制。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。)

内 容

- 呼気中の一酸化炭素濃度測定による肺の中の汚れ度をチェック
- 検尿による尿中ニコチン濃度測定でニコチン依存度をチェック
- 禁煙の疑問やノウハウ等についての個別相談(1人30分程度)

健康管理だより



が ん 検 診

☆事前に電話24-0816またはファックス24-5870で申し込んでください。
☆市が実施する各がん検診の受診回数は、年間1人1回です。(子宮がん・乳がん検診は、医療機関で実施するものも含めて1人1回です。)なお、自覚症状のある人は、医療機関で受診することをお勧めします。

ー 胃がん・大腸がんセットー

どちらか一方だけの検診も受けられます

日時(定員)・場所

9月26日(木) 9:10~10:00 (30人)
旭森地区公民館

9月27日(金) 9:10~10:00 (30人)
高宮地域文化センター

10月4日(金) 9:00~11:00 (45人)
福祉保健センター

10月8日(火) 9:00~11:00 (45人)
福祉保健センター

10月9日(水) 9:10~11:00 (45人)
稲枝地区公民館

10月11日(金) 9:10~10:00 (30人)
河瀬地区公民館

対 象 40歳以上の人

(予約制。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。)

検 診 料 胃がん検診……900円

大腸がん検診……500円

予約受付 9月2日(月)から

※胃がん検診は、胃・十二指腸の術後者、治療中の人は受診できません。

※大腸がん検診は、痔(い)があり出血している人、生理中の人は受診できません。

がん検診および市民健康診査について、次の人は検診料が無料になります。

(ア) (老人保健法) 医療受給者証のある人(発効期日にご注意ください)

→ 検診当日にお持ちください。

(イ) 生活保護法による被保護世帯の人 } → 必ず事前に両健康管理課に連絡してください。

(ウ) 市民税非課税世帯の人

ほけない健やか健診

日 時 9月27日(金) 13:30~16:30

場 所 福祉保健センター

対 象 65歳以上の人

定 員 10人(予約制。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。)

内 容 ポケないための健康教室・相談、頭と体の体操、脳の老化度テスト



ご協力ください

複十字シール運動

結核予防思想の普及と結核予防事業の推進のため、「複十字シール運動」が全国的に推進されます。

この運動は、結核、肺がん、その他の呼吸器疾患をなくし、健康で明るい社会を作るための募金活動です。ご協力をお願いします。
募金額 封筒・シール(各3枚)1組200円
市への申込期間 9月2日(月)~同30日(月)
申込方法 両健康管理課(平田町・福祉保健センター1階)、両保険年金課(市役所1階⑥番窓口)、支所・各出張所で募金と引き替えに複十字封筒・シールのセットをお渡します。

問い合わせ先 両健康管理課☎24-0816



合い言葉は「あいりす」 子どもも大人も あいさつをしましょう

人と人とのふれあい、会話の第一歩は「あいさつ」です。
子どもも大人も、お互いにあいさつを交わしましょう。
そして、地域の子どもの名前を覚えましょう。

Vol. 13

- あ あいさつは
- い いきいきと
- り リズミカルに
- す スマイル添えて



アイリスは、市の花「はなしょうぶ」などアヤメ科の植物の総称です。
彦根のいろいろな地域で、アイリスの花が咲くように、あいさつの輪が広がるようにと願って名づけられました。

※彦根市青少年問題協議会では、毎月1日(日曜日などの場合は、翌登校日)を「あいさつの日」として、市内の小・中学校の校門などで、子どもたちへの声かけを実施しています。

※皆さんのまちの「あいさつ運動」の取組をお知らせください。

連絡・問い合わせ先

☎教育委員会生涯学習課

☎24-7971、FAX23-9190

民生委員児童委員(城東二)の取組

子どもたち待望の夏休み。城東二の民生委員児童委員の土田さんご夫妻は、3年前から「地域の子どもたちと仲よくなるう」という思いを持って取組を続けておられます。



夏休み最初の1週間、ラジオ体操終了後の20分間が子どもたちとの遊びの時間

です。小舟を作って小川で流したり、紙飛行機を折って飛ばしたり(写真)。「後始末して、終わらしましょう。」の声に「おもしろかった、おばちゃんありがとう。」「明日は何か、楽しみにしてるでー。」子どもたちから気持ちのよい声が返ってきます。

遊びを通して子どもたちとコミュニケーションを図り、あいさつし合う関係が築けるよう活動されている姿に「地域の子どもは地域ではぐくむ」意気込みが伝わってきます。



人口と世帯数

平成14年8月1日現在

人口	108,866人 (+17)
男	53,473人 (+21)
女	55,393人 (-4)
世帯数	38,517世帯(+3)

()内は前月との比較

実施します

1月の臨時収集

9月は第3および第4月曜日が2週続けて休日となります。月曜日がごみ収集予定日となっている地域では、市民生活に支障を来すおそれもありますので、次のとおり臨時収集を実施します。決められた場所に、午前8時までに出してください。

- 9月16日(月) ▼河瀬、亀山、稻枝学区のプラスチックごみ
- 9月21日(土) ▼河瀬、亀山、稻枝学区の缶・金属類
- 9月23日(月) ▼河瀬、亀山、稻枝学区のプラスチックごみ
- 城西、城北、佐和山、旭森、鳥居本学区の燃やせるごみ

問い合わせ先 ☎清掃センター管理課 ☎2734番、FAX ☎247787番

表紙のことば

角 栄次郎 さん(京町一丁目)

彦根郵便局の前を通って東海道線をまたぎ、国道8号や名神彦根インターチェンジに至る道は、常に自動車がたくさん往来しています。この幹線道路、かつてはバスも通れない細道でした。鉄道をまたぐ陸橋もなかったころ、道の東詰には、賢木神社の鎮守の森が広がっていました。地元安清町の皆さんによって300年来守られ、「神明さん」と親しまれる賢木神社。「7月16日の神明さん」と言えば、夏の夜を彩る大祭でした。道に綱を張って人の往来を整理するほどのにぎわいを見せていたものです。

陸橋のたもとには、今も賢木神社があり、7月16日には変わらず大祭が行われています。昔日のにぎわいはありませんが、夏の風物詩として、いつまでも続いてほしいものです。



角さん(賢木神社境内で)

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、☎情報政策課広報係で撮影します。☎22-1411(内線431)へ気軽に連絡してください。